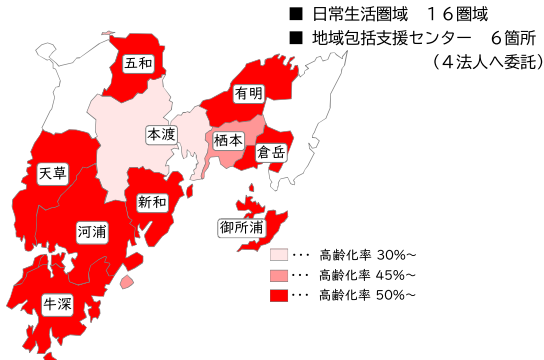


多職種協働で進めた 介護予防を入り口にした地域づくり ～天草市の取り組み～

令和6年12月1日
天草市健康福祉部 高齢者支援課 塚田みどり

基本情報 *R6年3月末現在、()は前年3月末比		
人口	72,516人	(-1,573人)
第1号被保険者数	31,081人	(-1人)
高齢化率	42.9%	(+0.7%)
要介護等認定率	19.89%	(-0.03%)



現在、高齢化率50%を超えた地域が8地域。2025年には、本渡地域以外は高齢化率50%を超える見込み。

▶天草市は、日本全体^(※)の40年以上先を行く
超高齢化の先進地域

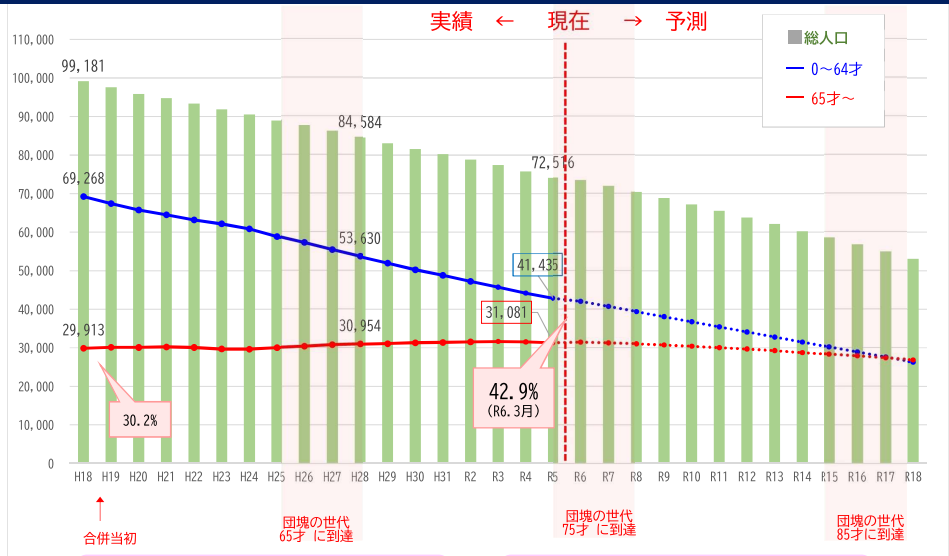
※ 2065年推計 38.4% (出典 内閣府「令和6年版高齢社会白書」)

● 高齢者のみ世帯率 45.4% (+0.9%)
うち 高齢者単身世帯率 27.8% (+0.7%)

地域	高齢化率	2040年 高齢化率 (推計)
本渡	33.4%	39.4%
牛深	51.3%	63.4%
有明	50.7%	57.6%
御所浦	56.6%	68.1%
倉岳	52.5%	59.1%
栖本	48.5%	56.3%
新和	52.5%	61.1%
五和	50.2%	58.7%
天草	55.3%	71.5%
河浦	53.2%	65.2%
計	42.9%	49.6%

高齢化率推計は、平成27年から令和2年国勢調査の5年間の推移を基に、天草市統計担当課においてコホート変化率を用いて独自に算出したもの。

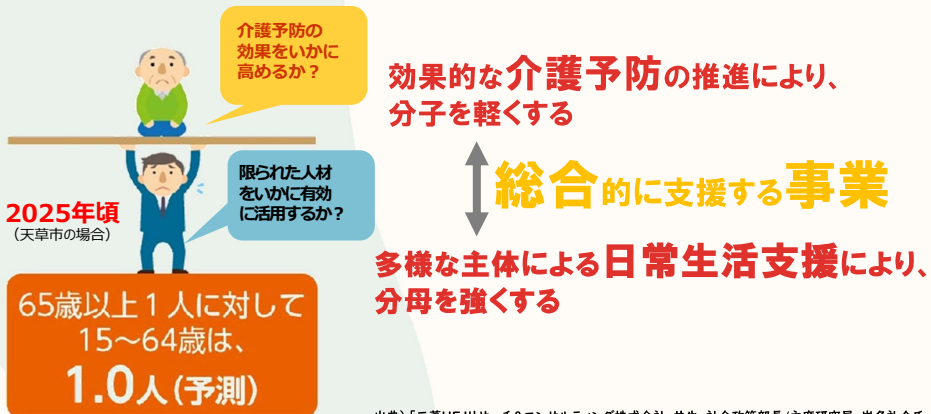
■天草市の年代別人口の推移と予測



若い世代の人口**激減**
(サービス供給を担う人材が**激減**) + 支援を要する高齢者は**減少**
(サービスの需要は**やや減る**)

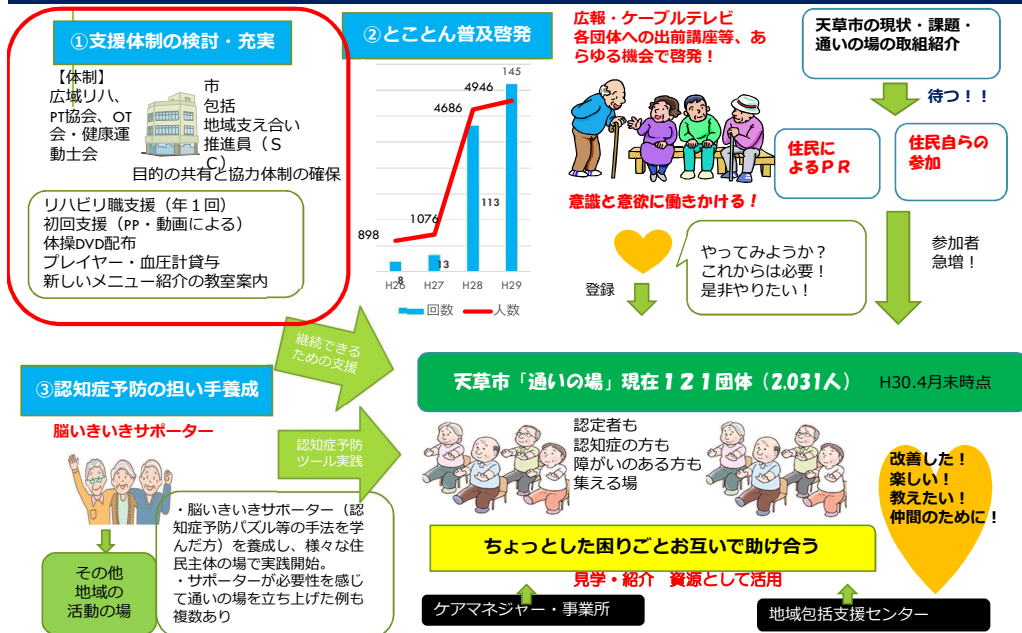
■「分子を軽くして、分母を強くする！」国の政策

- 2015年度より、全国で「**介護予防・日常生活支援総合事業**」がスタート(天草市では2017年度に開始)。
- 全国一律だった軽度者向け介護予防や生活支援を、それぞれの地域の特性にあわせて自由にデザインできる取組に転換(自治体の事業化)。
- 人口の構造的にも、予防の推進と、多様な主体による地域資源の獲得は、避けられない状況。



出典)「三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 共生・社会政策部長/主席研究員 岩名礼介氏作成、あまぐさ未来創造スクール講演資料」を高齢者支援課で編集。

■介護予防のベースを通いの場に定めた！（H30作成Ver.）

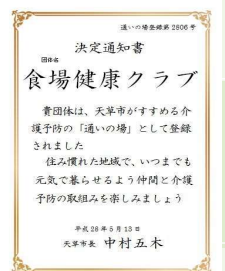


天草市の重点施策 ～通いの場づくり～

介護予防の「通いの場」 登録団体募集

（H27.11月～）

「通いの場」とは	「介護予防」「閉じこもり予防」「健康づくり」のため、自治公民館等の歩いて通える場所に地域の方々が集まって、市の薦める介護予防活動（体操等）を実施するもの。 住民主体 の活動。
登録要件	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者の過半数が65歳以上 → 担い手となる若い世代の参加もOK ○週1回以上開催 → 介護予防として効果を上げるのに必要な頻度 ○1回の参加人数は5人以上 → 点在する集落も多いため、少人数でOK ○市がすすめる介護予防活動（体操等）を実施 → 「いきいき百歳体操」等を推奨 その他のメニューは自由 例）認知症予防体操、ラジオ体操、真向法、歌、茶話会等、やりたいものを追加
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ○体操のDVD配布 ○DVDプレイヤー、血圧計等の貸与 ○リハビリ専門職による現地支援（1回限り） ○新たなメニューの提供 → 「いきいき体操教室」の案内等
募集数	H27：20団体 H28：30団体 H29：30団体



■住民主体の通いの場の分布状況

●実績（各年度末）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
箇所数	25	63	112	159	177	186	187	192	191
参加者数	275	790	1,561	2,319	2,551	2,615	2,551	2,502	2,332



参加者の内訳（R5年度末）

64歳以下：40人
65歳～74歳：695人
75歳以上：1,587人
※ 平均年齢 78.4歳

男性：368人
女性：1,964人

要支援認定者：133人
要介護認定者：95人
→ **認定者も通える場**

脳いきいきサポーター
が146箇所に在籍！

本渡：67、牛深：18、有明：13、御所浦：5
倉岳：14、栖本：10、新和：15、五和：23
天草：11、河浦：15

取り組みの成果①（参加者の声）

